

発行所
滋賀県長浜市宮部町2410
滋賀県立虎姫高等学校内

姉水会

〒529-0112
TEL 虎姫 0749-73-3055(代)

印刷 株式会社サラト

いたく、ご参加をお待ちしています。

今年も皆様とともにこれからの虎高を語り合

日(日)に長浜ロイヤルホテルで開催します。

き、大いに盛り上がりました。今年はいただ

開催しました。90名を超える方に参加いた

開催しました。90名を超える方に参加いた

開催しました。90名を超える方に参加いた

からでも大事に守っていかなくてはならない基

本ではありますが、世の中の変化とともに変

えなければならぬことは変えていく必要が

あります。

昭和30年に建設された家庭科教室を、昭和

55年に県から譲り受けた現在の姉水会館。創

立60周年記念事業として改修し、今も生徒た

ちのセミナーハウスとして現役で活躍してい

ます。しかし、木造モルタル造りの建物は老

朽化が激しく、外壁が剥落したり畳の下の根

太が腐ったりしただけでなく、浴室や便所は

使用に耐えない状況です。100周年を機に、

生徒たちが安心して使えるセミナーハウスの

建て替えをという声も上がってきています。

立100周年を迎えることになりました。あと

3年でその年を迎えます。

21世紀になり世の中は大きく変化しました。

高校をとりまく環境も大きく変わってきてい

ます。学区制だったのが全県一つの学区にな

り、高校の統廃合も進んでいます。

私たちの虎高も少しずつですが変化してき

ております。目に見えるものとしては、昭和

29年に制定された女子の制服が、多くの方の

ご尽力によって、この度新しいデザインに変

わります。驚くなかれ半世紀以上(63年間)

も同じデザインだったのです。このことは今

までの虎高にとって画期的なことだと思います。



虎高も百寿になります

姉水会会長 大塚 敬一郎

私たちが卒業しま

した虎姫高等学校は、

大正9年(1920)

4月1日に虎姫中学

校として創立いたし

ました。東京オリ

ピックの年2020

年には、いよいよ創

お帰りなさい虎高へ **平成29年度「姉水会」総会のご案内**

期日 平成29年7月30日(日)

日程 (理事会 15:00~16:00)

総会 16:00~16:40

 懇親会 16:50~

場所 長浜ロイヤルホテル

 (TEL 0749-64-2000)

懇親会 場所: 総会会場 (長浜ロイヤルホテル)

 会費: 8,000円 (写真代込)

※ご参加いただける方は、7月24日(月)までに下記の姉水会事務局へご連絡ください。

総会あるいは懇親会のみ参加でも結構です。

姉水会事務局 TEL 0749-73-3055 (虎姫高校)

 FAX 0749-73-2967 (虎姫高校)

 メールアドレス torahime-h.sisui@pref-shiga.ed.jp

※FAX・メールの場合は確認用連絡先を明記してください。

※ご遠方の方には、30日晩の宿泊(長浜ロイヤルホテル素泊まり3,500円)のご希望も承ります。お気軽に事務局までお申し出ください。

平成29年度 姉水会役員 (敬称略)

Table with 3 columns: 役職 (Position), 氏名 (Name), 卒回 (Graduation Year). Lists members including 会長 (President), 副会長 (Vice President), 顧問 (Advisor), 監事 (Supervisor), 理事 (Executive Director), and 事務局 (Secretariat).

姉水会 校内役員

Table with 3 columns: 役職 (Position), 氏名 (Name), 卒回 (Graduation Year). Lists school staff including 副校長 (Vice Principal), 事務長 (Secretary), 総務 (General Affairs), 会計 (Accounting), 会報 (Publications), 会員名簿 (Membership Roster), and 姉水会館 (Sister Water Club).



校長 三上 保彦

姉水会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、本校の発展のために、多大なご支援やご協力を賜り誠にありがとうございます。この場をお借りいたしまして、御礼申し上げます。

さて、私は、この四月に本校に校長として着任いたしました。私自身虎姫高校への三度目の入学であると思っております。一回目は、昭和四十九年四月に第二十九回生としての入学でした。二回目は、平成十五年四月に、数学の教諭として赴任し、九年間勤務いたしました。中高一貫教育の研究担当や、高校六十四回生の学年主任をさせて頂いていただきました。創立九十周年の年に、中河内から虎姫高校まで歩く、三十二キロ剛健ウォークを実施したことがつい最近の事のようにです。六十四回生にちなんで本日は六十四キロ歩きたかったのですが、一日で歩ける

距離として、その半分の三十二キロにしました。そして今回、第三十二代校長として三回目の入学です。三十二には、ご縁があります。三回も入学させて頂いただけをご縁がありたく思い、本校発展の為に尽力させて頂いたきたいと存じます。どうぞよろしくお願いたします。本校は、大正九年の県立虎姫中学開校以来、今年で九十七年目を迎えます。卒業生の数も二万名を越え、国内外において各界のリーダーとして素晴らしい活躍をされています。三年後の平成三十二年に、創立百周年という大きな節目を迎えます。今年度は、「創立百周年記念事業準備委員会(仮称)」を組織し、校内外の連携を深め、準備を加速させていきたいと考えております。本校は、「質実剛健」の校風や、校歌にある「独立自尊」、「方円自在」の精神を受け継ぎ、湖北の進学校として、湖北や滋賀県、日本の発展に貢献して参りました。それはこれからも変わることはありません。それに加え、昨今のグローバル化の進展を考えると、国際社会に貢献できる人材の育成にも視野を広げる必要があると感じています。少し、本校の現状について触れたいと思います。まず、文部科学省指定のスーパーサイエンスハイスクール事業(SSH)が、昨年度末で第一期五年間の指定を終え、今年度から第二期五年間

の新たな指定がスタートしました。滋賀県内では膳所高校、彦根東高校と並び三校が指定を受けています。本校のSSHは、すべての教科、すべての生徒を対象としており、その取り組みは高く評価されています。今年度は第二期目の初年度であり、一層充実した内容にしていきたいと考えております。次に、滋賀県から「国際バカロレア(IB)」の導入に向けた調査研究の指定」を受けて四年目を迎えます。IBとは、国際バカロレア機構が提供する国際的な教育プログラムで、国際的に通用する大学入学資格(国際バカロレア資格)を与え、大学進学へのルートを確保することを目的としています。昨年度末に、本校はIBの候補校となりまして、今年度は、来年十月の認可校申請に向けて、研究を加速させていきます。近年、人工知能(AI)の進化が加速しています。コンピュータが人間に勝つのは難しいと言われていた囲碁の世界でも、既に世界屈指の実力者がAIに負けています。このことに象徴されるように、二十一世紀は、新しい知識、情報、技術が社会のあらゆる分野で飛躍的に重要性を増す、いわゆる「知識基盤社会」であると言われております。「知識基盤社会」は、変化が激しく、常に新しい未知の課題に、試行錯誤しながらも対応する力が求められる社会です。

SSHやIBで取り組む教育は、知識基盤社会を力強く生きて行くのに必要な資質や能力を育成する為のものである、と考えております。本校では、SSHやIBの研究を中心に、すべての教育活動を通して、未来を拓く人材を育成したいと考えています。「文武両道」を目指す本校の生徒は、勉学と部活の両立に取り組んでいます。この三月に卒業した六十九回生は、現役進学率八十八%、国公立大学に七十六名合格という優れた実績を残してくれました。一方、部活動も盛んで、昨年度末の部活動加入率は八十八%でした。この四月以降も、アメリカンフットボール部が七年ぶりに関西大会に出場するなど、各部とも活発な活動を展開しています。このように、勉学と部活の両立に真摯に取り組む生徒の姿勢は、今も昔も変わっていません。私は、在校生のその姿に、頼もしさを感じ、虎姫高校の明るい未来を予感します。我々には、より高い頂へと、生徒達を導く使命があると感じながら、日々の教育活動に取り組んでおります。皆様方には、今後とも母校に對しまして、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

第9回同窓会報告

わたしたちは以前から2年毎に同窓会を開催していますが、今回は平成28年6月21日、「グランパレー京岩」において43名の出席のもと開催しました。開会挨拶や黙祷の後、先ず全

日東第一だより

員で校歌を声高らかに斉唱しました。格調高い歌詞と曲で声を張り上げて歌いますと、自ずと同窓生としての一体感を感じさせてくれます。

ところでわたしたちは開催ごとにアトラクションや貴重な体験の話題などを提供しあつて会を盛り上げていますが、今回は校歌の作詞者巖谷小波と作曲者永井幸次について調べたものを簡述して話題提供としました。

大正14年(旧虎中第1回生卒業年)に誕生した校歌については、作詞者が「御伽噺」を大成させた児童文学者で、本県になじみの深い巖谷小波であることからよく話題に上ります。一方、作曲者の永井幸次は鳥取県出身で、幼少の頃から音楽に没頭、東京音楽学校卒業後音楽教育に精根を傾けるとともに、私費を投じて大阪音楽大学を設立し、多くの人材を養成しました。両者とも「この道一筋」を貫き通し、多大の功績を残した人でした。



当日は全員でたつぷりと交歓しあうため二次会を敢えて設定せず、4時間同会場で行いました。最後に「琵琶湖就航の歌」を声高らかに歌い上げ、再会を約して散会しましたが、なお話は尽きず思い思いに誘い合つて別会場へと移られました。(大野木正宏)

高13回卒同窓会報告

一昨年4月には浜松縮山寺温泉、昨年は信州戸倉温泉での高13回卒同窓会・旅行会が行われました。このように泊を伴う同窓会は今年で連続3年目となります。今春は後期高齢者入りという記念すべき歳を迎え、伊勢神宮参拝の「お礼参り」を兼ね、鳥羽扇野の宿「扇芳閣」を会場にして企画実施されました。参加者は24名で、この3年で延べ31名が出席したことになり、年々徐々に広がりを見せつつあります。

4月18日に長浜をレンタカーやマイカー2台で出発した滋賀県勢13名は名神、第二名神に乗り伊勢神宮に直行、その日のうちに内宮、外宮に参拝、75年の生に感謝とお礼を申し上げ

宿に入りました。関東勢を中心にした県外からの参加者は交通手段の関係で翌19日の参拝となり、老邪気を払った各位はともに今後のご利益と英気を頂くことになるであります。

参加者の最大の楽しみみの一つである夜の宴会の盛り上がりは筆舌に尽くしがたく、母校当時は2年時から進学と就職組に分かれ、また進学志望者も能力別クラス編成がなされましたが、75年の歳月を経た今ではその境は見あたらず、母校への熱き思いや感謝とともに、多様性を認め合いながら大いに旧交を温め合いました。酒を酌み交わしつつ母校の今や友の消息、日々の生活や健康のこと、地域の情報交換をはじめとして、過去の戦中、戦後の荒廃から始まり、高度成長時代、オイルショック、低成長時代を生きた75年の人生経験を語り合い、その延長は宿舍各部屋まで及んで時間の経つのを忘れるほどでした。翌朝、来春の再会を約して滋賀勢は伊勢志摩、関東勢は内宮参拝などへと向かい、それぞれが思い出に残る有意義な旅行を終えました。(文責・清水利展)



虎高27回生(昭和50年3月卒)初めて同窓会を開きました

虎姫高校27回生は卒業以来、学年全体で集まる機会がなく寂しい思いをしていましたが、同窓の藤居毅君が母校の校長に就いたことや、還暦という節目もあつて、水野透君、川上忠嗣君、吉田和生君らと相談し、初めての同窓会を平成29年1月3日北ビワコホテルグライイエで還暦同窓会と銘打ち開催しました。

しわが増えたり禿げたり太ったり、相変わらずスマートだったり、とても同年の集いには見えませんが、写真撮影校長からの虎高の現状報告、情報交換や思い出話など終始和気あいあいと、最後に全員で肩を組みながら校歌を斉唱しました。

参加者は67人(男56女11)で、欠席は124、返事なしが45、連絡先不明者が19、物故者が11です。返信ハ



ガキに書かれた106人のメッセージを配布し皆で拝見したので、少し紹介しますと、◆卒業して40年以上たちますが、年1、2回いまだに試験の夢を見ます◆上京して約35年たち、遠い青春時代を懐かしい思い出がよみがえってきます。同



窓会での再会を楽しみにしています◆5年前に退職しました。今は介護と孫の世話で大忙しです。高校の頃が懐かしいです◆最近山歩きを始め「山ガール」を気取っています。今度お誘いいただきたいときには是非皆様にお会いできますように◆神奈川のJ.Tでパートしていた時に所長さんが虎高のことをよく知っておられ感激しました。卒業生の皆様のお陰です。虎高に行つてよかったです。

多感な高校時代に空間・時間を共有した仲間との再会はとてうれしい時間となります。一度きりでは寂しいので次回は5年後です。今回の同窓会で新たにわかった23人の連絡先は姉水会事務局に届けています。※当日の集合写真が必要な方は、浅見義典までご連絡を！
asamides@ars.com.ne.jp

第67回生学年同窓会

平成29年1月9日(月・祝)、THE STYLISH COMFORT LINEAにて第67回生の学年同窓会を開催しました。同窓生160名以上、恩師の先生方4名の参加がありました。成人式の翌日ということもあって、同窓生のほとんどが参加し、大人数での同窓会になりました。浅井先生の挨拶と乾杯のご発声で会が始まり、近況報告や、将来の夢の話などで盛り上がりました。高校卒業から2年しか経っていませんが、互いの成長を感じ合い、気持ちの高め合うことができました。また、ビンゴ大会では、賞品を巡って大きな盛り上がりを見せ、高校時代の楽しさや賑やかさを思い出しました。

67回生の皆さん、多くの参加をいただき、楽しい時間を共に過ごせたことを、幹事一同感謝しています。今後もそれぞれの道を歩み、より成長した姿でまたお会いできる日を楽しみにしています。本当にありがとうございました。



平成28年度「姉水会総会」報告

平成28年度姉水会総会は、昨年7月31日(日)16時00分より「長浜ロイヤルホテル」にて開催されました。平成27年度までは母校虎姫高校の会議室で開催いたしておりましたが、平成32(2020)年の虎姫高校創立100周年を前に、より多くの方にご参加いただけるよう場所を「長浜ロイヤルホテル」に変えてご案内いたしました。当日は、90名を超える多くの方に集まっていたことができました。



総会では、おびくりになった諸先輩方への黙祷から始まり、大塚敬一郎姉水会会長(高17)のご挨拶、虎姫高校藤居毅校長(高27)にご挨拶をいただきました。その後、議事に入るにあたり、議長に沢田昌宏姉水会副会長(高28)を選出させていただきました。協議事項のはじめとして「平成27年度事業報告」と「平成27年度決算報告・監査報告」が満場の拍手で承認されました。

次の協議事項として「姉水会館について」が提案されました。母校虎姫高校敷地内にある「姉水会館」は、本来昭和30年に木造平屋建て「家庭科教室棟」として建設され、長く家庭科授業に利用されてきた建物です。昭和55年虎姫高校創立60周年記念事業の一環として、それを滋賀県より姉水会が譲り受け、現在の場所に移築、同窓会館として整備していただきました。以来、部活動の合宿や勉強・研修会、姉水会関係資料の保管等に利用されてきました。しかしながら、耐震補強工事も未実施であること、浴室・便所が男女共用で教育的配慮において問題であることなどが指摘されてきました。そこで、協議事項として「滋賀県当局にセミナーハウス建設を要望し、

その建設が実現するときには、姉水会の経費負担と責任のもとに、姉水会館の撤去・解体を行う」ことが提案され、満場の拍手で承認されました。滋賀県内の県立高校で県管理下のセミナーハウスが設置されていない学校は、虎姫高校を含め、2校という現状があります。



現在、滋賀県当局に、虎姫高校と虎姫高校同窓会である「姉水会」の連名でセミナーハウス建設の要望をしている段階です。

続く協議事項として、「姉水会規約・規定の改正について」が提案されました。姉水会会則第6条第2項に、「本会は正会員より副会長3名を置く」と定められています。虎姫高校創立100周年に向けて姉水会の役員体制を強化するため「副会長10名以内」に改正するとの提案ですが、この協議事項も満場の拍手で承認されました。その後、大塚敬一郎姉水会会長から、現在の笹原那智子副会長(高15)、関谷松男副会長(高20)、沢田昌宏副会長に加え、橋本圭祐氏(高17)と宮島正典氏(高37)のお2人に姉水会副会長をお願いする旨の提案がなされ、満場の拍手で承認されました。現在姉水会は大塚会長のもと、副会長5人体制で運営されています。以上の協議事項とその他・連絡事項を含め、総会は16時50分頃に無事終了しました。



その後休憩をはさんで、第2部として、ご臨席いただいた滋賀県副知事の西嶋栄治氏(高23)に『ふるさと滋賀の今、そしてこれから』と題してご講演をいただきました。県政の中心からおられる副知事の立場から、滋賀県や琵琶湖

の現状を詳しくお話いただき、また今後の展望や見通しなども識見をもとにお話しいただきました。参加していただいた姉水会会員の皆様にとつても、新たな発見や気づきにつながるご講演でした。



17時30分頃より、第三部として、89名の方にご参加いただき懇親会がスタートしました。まず滋賀県議会議長・野田藤雄氏（高16）の発声のもと乾杯から始まり、会が進みお酒や食事が進むにつれて、卒業年度の近いもの同士が着席したテーブルから、高校時代の思い出話や共通の恩師の話などがたくさん聞かれました。会員のアピールタイムでは、遠方よりご参加いただいた方の挨拶や歌も披露され、大きな盛り上がりとなりました。中締めには、懇親会恒例の虎姫高校校歌「日東第一」を全員で肩を組んで合唱し、次年度の総会での再会を約束してお開きとなりました。

今年、平成29年度の姉水会総会は7月30日（日）16時00分から

「長浜ロイヤルホテル」

にて開催いたします。昨年以上に多くの姉水会員の皆様方にご参加いただければ幸いです。ご参加いただける方は、7月25日頃までに、虎姫

●連絡先

【虎姫高校 代表電話番号：0749-73-3055】

【虎姫高校 FAX番号：0749-73-2967】

【事務局eメールアドレス：

torahime-h.suisui@pref-shiga.ed.jp】

FAX・メールなどで連絡いただく場合は、連絡先と卒回（または卒業年度）を明記してください。今年の総会・懇親会でお目にかかれることを楽しみにしております。

【事務局】

高校姉水会事務局までご連絡ください。○平成28年度総会・懇親会にご参加いただきありがとうございました。

- (中24) 西川善一(高2) 瀬辺 勲(高3) 長谷川隆男(高7) 西岡義夫(高11) 米田喜幸(高14) 村田 洋(高15) 笹原那智子、鈴木正信、富田敏之、金澤一輝、中川安之、西坂重和(高16) 野田藤雄(高17) 大塚敬一郎、辻 文雄、押谷幹夫、松川敏夫、橋本圭祐、中川 正(高18) 速水敏行、伊藤光男、大橋香代子(高19) 土田良夫、月ヶ瀬義雄(高20) 伊藤正明、清水 実、関谷松男、梶村光喜(高22) 中川 勇(高23) 西嶋栄治、西嶋博純(高26) 前田光治、上松俊彦(高27) 浅見義典、伏木直之、早見貞雄、川崎佐剛、吉田和生、藤居 毅(高28) 鈴木富美代、八木ひとみ、和田美紀子、出雲滋子、沢田昌宏、虎頭良裕(高29) 織田恭淳(高30) 中西恭子、河崎仁美、沢田 緑(高31) 杉本義明、田中孝昌、中尾俊一、北川あさ子(高32) 水上敏彦、山崎正直、梅本剛雄、河下太勇、篠宮寿夫(高33) 河崎幸一、中村隆洋(高34) 辻井敏夫、井上 博、三和伸彦、小八木辰男、岩崎俊裕(高35) 岩根重治、吉田佳司(高36) 小森規博、清水倍朋、中澤成行、上野賢一郎、吉田晴洋(高37) 宮島正典、小西和哉、岡田愛子、森川茂樹(高38) 福永かおる、吉田道明、菅原信章(高40) 浅見勝也(高41) 松居慶浩、西嶋利明(高42) 川島隆二、細江秀樹、鈴木泰子(高43) 川瀬千津(高46) 塚田陵子、杉本智子、山根孝子(高48) 福永紘治(高57) 中山郁英(高59) 板谷明香(高60) 宮田崇弘

【敬称略】



近年の滋賀県の現状

近年の滋賀県の状況ということで2つお話をさせていただきます。

1つ目は人口減少についてです。滋賀県は全国で稀有の人口増加県でありましたが、一昨年(2014年)の10月現在の統計上の人口では、前年比較で減少し、人口減少局面に入ったといわれています。今年(2016年)7月現在で、人口1,414,510人で、前年比758人減であり、減り方も大きくなっています。ただし、そんな中でも世帯は増えていきます。現在約56万世帯で前年比較約2,500世帯増です。学生の世帯も増えていますが、核家族化が進み、人口は減り、世帯数は増えているという状況です。滋賀県の人口は、何も手を打たなければ、2040年には131万人を切り、2060年には113万人を切ると予測されています。

滋賀県の人口推移を見てみますと、1945年86万人、1971年90万人、1976年には100万人を超え、その後ずっと増加しましたが、2013年の141万7千人をピークに減少に転じています。出生数はベビーブームの多いときで27,000人ありましたが、現在は13,000人です。社会増が止まり、死亡者数が出生数を抜く自然減が起こりつつあります。何とか2040年で137万人、2060年で128万人を維持したいと思っています。

また、滋賀県内の大学にいる約3万人の学生の約8割が県外に就職するという状況です。このような若者を滋賀県内に引き止めたいと考えています。

このような状況でも、栗東・守山・草津地域は現在も人口が増加しており、引き続き20年増え続け、減っている湖北はさらに減り続けることが予測されています。この県内のアンバランス、および全体の人口減少を食い止めたいと思っています。2つめは「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」についてです。

議員立法により、第189回国会において、党派を超えて全会一致で可決され、平成27年9月に



公布・施行されました。琵琶湖は、近畿の宝であり、日本の湖の先駆けであるということで、琵琶湖を国民的資産として位置付けていただきました。ひとつの湖を対象にした法律は珍しく、この法律が成立したことは大変有難く、それと同時に責任を感じています。今後、この法律に基づき、琵琶湖保全再生施策に関する計画を策定していきたいと思っています。

そんな中で、琵琶湖に関しての前向きな取り組みとして、平成27年に「琵琶湖とその水辺景観一祈りと暮らしの水遺産」を「日本遺産」に申請し、第一号認定を受けました。全国18箇所の中の1つです。来年(2017年)はこの日本遺産を核とした観光キャンペーンを行う予定です。これまで水質等を守る努力をしてきた琵琶湖を、今後は資産としても大いに活用していきたいと思っています。

漁獲量減少や水草の問題等、琵琶湖が抱える課題について、この「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」を突破口に県民の皆様と連携して解決していきたいと思っています。南湖の水草は南湖を覆いつくすくらいになっています。漁獲量は10,000tから800tに激減しています。カワウも外来魚もかなり駆除し、ニゴロブナも戻りつつありますが、琵琶湖にはまだまだ課題があります。

この琵琶湖を守ることが、日本の湖を守ることになりますので、全国のために頑張るつもりで、しっかりと取り組んでいきたいと思っています。後輩の皆様さんの活躍を楽しみにしつつ、ここにおられる皆様のお力添えを頂き頑張っていきたいと思っています。

本日は、貴重なお時間を頂き、誠にありがとうございました。

2期目の指定を受けました

スーパーサイエンス ハイスクール

(文部科学省指定 第1期 平成24～28年度)

Science for All

～すべての生徒に科学的思考力を～

探究的・発展的な授業

——覚えることだけが勉強じゃない

●『究理Ⅰ・Ⅱ』 『究理』は、知りたいことを存分に探究するための虎姫高校独自の教科です。

●『究理Ⅰ』 第1学年全員課題をグループで解決していく学習を通して、探究活動に必要な基礎的知識とスキルを学びます。



◀金属柱の正体を探る

●『究理Ⅱ』 第2学年理系(希望者)4つのゼミ(物理・化学・生物・数学)に分かれて自らテーマを設定し、1年間をかけて本格的なグループ研究を行います。最終的には、研究成果のプレゼンテーションを行い、論文を執筆します。大学の先生からの指導や助言も受けながら研究を進めます。

雄ミジンコの発生条件を探る▼



ポスター発表



ドミノ倒しの速度を測る▶



▶ 専門家にインタビュー▲

※平成29年度入学生からは『究理Ⅱ』の対象を拡充し、第2学年理系全員が『究理ⅡA』または『究理ⅡB』のいずれかを履修します。また、第3学年理系に『究理Ⅲ』を設置します。

本物に触れる。最先端と出会う。

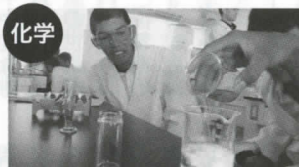
——学校の外にも広がる学びの場

●サマーセミナー

2年生の夏には、理系生徒が分野別に分かれて、大学などで本格的な講義や実習を体験します。サマーセミナーは進路選択のきっかけにもなっています。



大阪大学大学院理学研究科・滋賀県立大学工学部



滋賀県立大学工学部・龍谷大学理工学部



滋賀医科大学医学科・看護学科



龍谷大学理工学部



滋賀県立大学環境科学部



慶応義塾大学小林研究会

虎姫高校は、国際バカロレア候補校です

虎姫高校は、国際バカロレア (IB) ディプロマ・プログラムの候補校(※)です。本校は、IBワールドスクール (IB認定校) としての認定に向けた申請段階にあります。IBワールドスクールは、質の高い、チャレンジに満ちた国際教育に信念をもって取り組むという理念を共有する学校です。虎姫高校も、このような教育に取り組むことが、生徒にとって大切であると信じています。国際バカロレア機構およびIBのプログラムの詳細については、ウェブサイトをご覧ください。http://www.ibo.org.

※ IBの初等教育プログラム、中等教育プログラム、ディプロマ・プログラム、IBキャリア関連サーティフィケートを実施することができるのは、国際バカロレア機構に認定された学校のみです。候補校であることは、IBワールドスクールとして認定されることを保証するものではありません。

●本物の英語に触れる

- ・授業では、英語圏の社会で実際に使われている英文資料や音声資料(新聞記事、ネットニュース等)も活用します。
- ・2名のALTが授業や特別活動をサポートすることで、日常的にネイティブの英語に触れる環境が整っています。

●読解力・コミュニケーション能力を鍛える

- ・英語を思考や表現のツールとして、より実的に活用できるようにするため、自分の意見を英語で発信する活動(プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション等)を行っています。
- ・初めて見る文章でも読み解いていく力を培う活動を行っています。



▲ペアワーク



▼ディベートの準備中▼

●科学英語講座

『究理Ⅱ』の授業では、「科学英語講座」を開設して、アメリカからの留学生に向けて研究内容のプレゼンテーションと質疑応答を英語で行います。



コンテスト・発表会

科学系コンテストや研究発表会など、チャレンジの機会が豊富にあります。



H29年度 研究指定

- スーパーサイエンスハイスクール指定校
- 国際バカロレアに向けた調査・研究
- ICT活用プロジェクト研究
- 次代を担う生徒のキャリア教育事業
- 「学びと変革」推進プロジェクトモデル校
- 京都大学と滋賀県教育委員会との連携協定に係る連携指定校
- 外部専門機関と連携した英語指導力向上事業

進路状況

● 現役合格延人数

種別	平成27年3月卒	平成28年3月卒	平成29年3月卒	
卒業者数	198	197	234	
大学	国公立大学	82	80	76
	私立大学	437	368	442
	計	519	448	518
短大	公立短大	0	0	0
	私立短大	2	1	5
専修学校等	12	10	9	
就職	公務員等	1	0	0

● 大学合格状況

【国公立大学】 合格延人数 ()内は過年度卒

大学名	平成27.3卒	平成28.3卒	平成29.3卒	大学名	平成27.3卒	平成28.3卒	平成29.3卒
東北大	0 (0)	1 (1)	0 (0)	京大	1 (0)	0 (0)	1 (1)
お茶の水女子大	0 (0)	0 (0)	1 (0)	京都教育大	1 (0)	1 (0)	1 (1)
東京芸術大	0 (0)	1 (0)	0 (0)	京都工芸繊維大	0 (0)	0 (0)	1 (0)
富山大	4 (1)	3 (1)	0 (0)	大阪大	1 (0)	1 (1)	0 (0)
金沢大	9 (1)	4 (0)	6 (1)	大阪教育大	1 (0)	1 (0)	0 (0)
福井大	2 (1)	4 (1)	4 (1)	奈良女子大	0 (0)	2 (0)	2 (0)
信州大	4 (1)	0 (0)	0 (0)	神戸大	3 (0)	0 (0)	2 (2)
岐阜大	2 (0)	6 (0)	3 (0)	和歌山大	1 (0)	0 (0)	0 (0)
静岡大	7 (1)	4 (0)	5 (0)	岡山大	0 (0)	2 (0)	0 (0)
名古屋大	6 (0)	2 (0)	2 (1)	広島大	2 (0)	2 (0)	5 (1)
名古屋工大	0 (0)	4 (0)	1 (0)	鳥取大	0 (0)	4 (0)	3 (0)
三重大	0 (0)	2 (0)	3 (0)	国立大学計	60 (7)	62 (5)	62 (9)
滋賀大	7 (0)	7 (0)	8 (0)				
滋賀医大	0 (0)	1 (0)	1 (0)				

※ 紙面の都合上、全ての大学は掲載していません。

【私立大学】 合格延人数 ()内は過年度卒

大学名	平成27.3卒	平成28.3卒	平成29.3卒	大学名	平成27.3卒	平成28.3卒	平成29.3卒
明治大	4 (0)	1 (1)	3 (1)	京都薬科大	1 (0)	2 (1)	1 (1)
中央大	1 (0)	3 (0)	1 (0)	同志社大	7 (2)	14 (4)	8 (2)
早稲田大	3 (1)	1 (0)	4 (1)	立命館大	82 (14)	77 (11)	72 (11)
南山大	3 (0)	1 (0)	1 (0)	龍谷大	74 (9)	55 (0)	61 (2)
京都産大	18 (0)	6 (0)	21 (0)	関西大	20 (1)	26 (8)	14 (5)
京都女子大	27 (0)	12 (0)	17 (0)	近畿大	18 (0)	12 (0)	19 (5)

● 第69回生(平成29年3月卒)進学希望者数に対する合格率・進学率

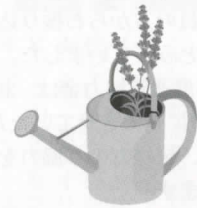
進学希望者数	人数	合格率・進学率		
		合格者数	合格率	進学率
A	233	B	B/A	93%
B	216	C	C/A	88%
C	205	D	D/A	33%
D	76			



大学名	平成27.3卒	平成28.3卒	平成29.3卒
国際教養大	0 (0)	1 (0)	0 (0)
首都大学東京	4 (1)	0 (0)	0 (0)
福井県立大	2 (0)	0 (0)	1 (0)
名古屋市立大	1 (0)	1 (0)	0 (0)
滋賀県立大	8 (0)	11 (0)	12 (0)
大阪市立大	3 (0)	0 (0)	0 (0)
大阪府立大	1 (1)	2 (0)	2 (0)
公立大計	31 (2)	24 (1)	25 (2)
国公立大計	91 (9)	86 (6)	87 (11)
再掲 国立大医学部医学科			
滋賀医大	0 (0)	0 (0)	1 (0)
医学科計	0 (0)	1 (1)	2 (1)
再掲 国立大農学部共同獣医学科			
鳥取大	0 (0)	1 (0)	0 (0)

大学名	平成27.3卒	平成28.3卒	平成29.3卒
関西学院大	6 (0)	6 (0)	6 (0)
私立大計	571 (34)	403 (35)	487 (45)
私立医学科	0 (0)	2 (2)	1 (1)

※ 紙面の都合上、全ての大学は掲載していません。



堀

浩治 先生(十年勤続)

母校に永年ご勤続いただき、後輩の教育にご尽力されている先生の労に対し、会長より感謝状と記念品が贈呈されます。

今年度永年勤続表彰

副主幹
西川由香里 長浜高等学校
高畑 昌子 長浜高等学校

臨時講師
富岡 奈央(英語)
赤田 純(国語)

教諭
徳原 真也(数学)新規採用
宮部 睦美(英語)長浜北高等学校

教諭
塚田 豊(英語)総合教育センター1
南部 康弘(保体)伊吹高等学校

校長
川口 健一(理科)守山高等学校
三上 保彦

転入
石井 哲茂(英語)河瀬高等学校
宮崎 望 会計管理局

主任主事
西村 育浩(保体)河瀬高等学校
仙波 直人(数学)八日市高等学校

教諭
西村 育浩(保体)河瀬高等学校
木野 葵(英語)

転出
植野 貴之(理科)

臨時講師
板谷 明香(国語)

教諭
小財 久美(英語)

校長
藤居 毅

退職
西村 直彦(国語)

職員人事異動(敬称略)

平成29年度





三 角 点

(上位成績のみ)

■平成28年度秋季総体・高総文祭等 結果

■平成29年度春季総体等 結果

水泳

1000M背泳ぎ決勝7位 西島祥馬
800M自由形決勝5位 山村美結

アーチェリー

男子団体 3位
女子団体 3位

卓球

男子個人シングル ベスト16 神田 優
女子団体 ベスト8 近畿大会出場
個人ダブルス ベスト8
新美乃理・山田千紘組



ソフトテニス

個人シングル ベスト16
新美乃理、山田千紘

男子個人戦 ベスト8
西川葵・島田祥孝組
近畿大会出場



女子団体戦 ベスト8
堀季実佳・藤井日菜乃組
近畿大会出場

個人戦 ベスト8

陸上

男子 4×400MR 8位
800M 7位 細江康太

男子団体 1部優勝 安田義崇
個人 1部優勝 安田義崇
全国大会出場

囲碁将棋

男子団体 1部優勝 安田義崇
個人 1部優勝 安田義崇
全国大会出場

演劇

県大会 5位

ESS
第9回全国高校生英語
コンテスト滋賀県予選 2位

科学探究

読売新聞社賞

新聞

滋賀県高等学校新聞コンテスト
優秀賞・教育長賞 全国大会出場



アーチェリー

男子団体 3位
個人 4位 一居拓郎
近畿大会出場

女子団体

4位
近畿大会出場

卓球

男子個人 ダブルス ベスト8
神田優・堤周平組
近畿大会出場

女子団体

ベスト8
近畿大会出場

ソフトテニス

男子個人戦 ベスト16
西川葵・島田祥孝組
近畿大会出場

女子個人戦 7位
堀季実佳・藤井日菜乃組
近畿大会出場



陸上

男子走幅跳 6位 伊部功記
近畿大会出場

バスケット
女子 ベスト8
男子 ベスト8

囲碁・将棋
高校将棋県選手権大会 男子個人 優勝
安田義崇 全国大会出場

水泳

800M自由形決勝6位 山村美結
400M自由形決勝8位 北川史龍
200M平泳ぎ決勝6位 中村梨花
近畿大会出場



平成28年度 姉水会決算報告(案)

自 平成28年4月1日
至 平成29年3月31日

1 一般会計

収入の部

項目	金額	備考
前年度繰越金	1,767,253	(定期:1,404,482円、普通:362,771円)
入会金	936,000	高69回生(4,000円×234人)
同窓会名簿売上	8,000	4,000円×2冊
運営協力金	1,647,412	ゆうちょ、コンビニ振り込み分
特別会計より繰入	500,000	運営資金不足のため
雑収入	85,242	利息(定期238円・普通4円)、祝儀、寄付金等
合計	4,943,907	

支出の部

項目	金額	備考
通信費	15,712	郵送料等
旅費	113,380	東京姉水会旅費
会議費	121,876	総会(資料印刷・お茶・写真代・会議室料等)
謝金・謝礼	33,886	10年勤続表彰謝金・謝礼・お礼菓子
慶弔費	10,000	総会祝儀等
姉水会館損害保険	36,750	損害保険料
会報「姉水」発行経費	1,876,730	株式会社「サラト」に委託
姉水会館施設設備費	38,198	ガス代
姉水会館外壁工事	43,480	老朽化による破損のため修繕
姉水会館害虫駆除	2,700	ダニ調査
その他	19,203	証書ファイル・祝儀袋・旗用ポール・ゴム印等
「特別会計」へ繰入	702,000	高69回生入会金より(3,000円×234人)
合計	3,013,915	

次年度繰越金	1,929,992	(定期:1,404,720円、普通:525,272円)
--------	-----------	-----------------------------

2 特別会計

収入の部

項目	金額	備考
前年度繰越金	2,706,769	(定期:2,135,948円 普通:570,199円)
一般会計より繰入	702,000	高69回生入会金より(3,000円×234人)
PTAより返済	623,000	H25年度に空調設備資金として貸出(13カ年返済)
雑収入	1,000,152	寄付金・利息(定期127円・普通25円)
合計	5,031,921	

支出の部

項目	金額	備考
一般会計へ繰入	500,000	運営資金不足のため
学校敷地内工事費用	345,600	外トイレ通路コンクリート工事
学校設備費用	206,128	体育館ジェットヒーター一台
合計	1,051,728	

次年度繰越金	3,980,193	(定期:2,136,075円、普通:1,843,496円 622円)
--------	-----------	------------------------------------

運営協力金

1,647,412円

多くの会員の方からお振り込みいただき誠にありがとうございました。

平成28年度運営協力金は、主に会報「姉水」発行経費に充てさせていただきました。

今年度も、皆様方のご協力をよろしくお願いたします。

同窓会だより「姉水」の原稿募集について

多くの学年で、旧交を温め合うべく同窓会を開催されていることと思います。その様子を本紙の『日東第一だより』に掲載させていただきたく存じます。是非とも事務局まで原稿をお寄せ下さい。写真のみの掲載でも結構ですので、どうぞよろしくお願い致します。毎年、5月上旬が原稿メ切りになっております。